

TKU LIBRARY NEWS

vol.
4

2015
Winter

図書館がより

Contents

pp.1-2 「学内のミニ図書室」特集

pp.3-4 祝 20周年！ TAC 特集

p.5 図書館から進一層館へ

p.6 教職員・学生のオススメ本



東京経済大学
図書館

図書館だけじゃない！

「学内のミニ図書室」特集

～大学での学びに、学内の本や施設をフル活用しよう！～

堺憲一学長からのメッセージ



ガラス張りの外観を有した新しい図書館。環境との共生をめざす特徴的な外観と光溢れる空間が評価され、5号館と共に2014年度グッドデザイン賞を受賞しました。

この図書館を多くの学生たちが読書、自習、グループでの談話や討論などで活用しています。図書館には約76万冊の蔵書がありますが、本学にはその他の校舎にも本や雑誌に触れることのできるスポットが多数あります。活用してみたいはかがでしょうか。



学びの“本”拠地、図書館の充実した設備に注目！

グループ学習室・閲覧室



ゼミで集まって相談したり、資料を作ったりする必要はありませんか？そんな時に大いに活躍するのが、グループ学習室です。

図書館には5室(2階3室、3階2室)のグループ学習室があり、4～12名で利用できます。もう少し少人数で使いたいだけ...それでは1階のグループ閲覧室(3室)をご利用ください。

いずれも申込制なので2階カウンターで手続きを取ってください。

データベース室



図書館の資料は本だけではなく、各種データベースもぜひ活用してください。

図書館ホームページの「データベース一覧」から自分の目的に合ったものを探さず、ゼミ指導教員に利用法を尋ねてみましょう。

企業財務等の一部データベースは図書館3階のデータベース室に利用が限られるものがあります。作業スペースもあるので、ゼミでの活用をおすすめします。こちらも申込制です。

各種サービス紹介



多くの方に便利に使っていただいているサービスに、図書館内で利用できるノートPCの貸し出しがあります。2階カウンターで手続きできます。

また本学図書館以外の資料を利用したいときにはレファレンスサービスを利用してください。図書の取り寄せ、文献コピーの取り寄せなど様々な対応が可能です。とりわけTAC加盟大学の図書資料は無料で簡単に取り寄せることができます。ぜひ活用しましょう。

1

ちょっと豆知識

ノートPCは6号館5階の情報システム課でも貸し出しています。他にも、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、三脚、プロジェクタ、BD/DVDプレイヤー等を取り揃えており、皆さんの学習を強力にバックアップしています(貸出日数や手続きは情報システム課のサイトで確認を)。6号館～5号館～新図書館は、2階フロアが渡り廊下で繋がっているので、雨の日や寒い日も快適にアクセスできますよ！



GOOD DESIGN
AWARD 2014



キャンパス計画 東京経済大学 図書館・5号館が
2014年度グッドデザイン賞を受賞しました。

キャンパス内に点在する、ミニ図書館と書店たち

国際交流課



国際交流課は1号館2階にあり、みなさんの留学支援や外国人留学生の受け入れ、海外の大学との交流を行っています。

TOEFL・IELTSに関する問題集の貸し出しも行っています。談話ブースには『留学ジャーナル』などの留学に関する雑誌やパンフレットもあります。

留学に少しでも興味のある学生さんは気軽に立ち寄ってみてください。

学生相談室



学生相談室は1号館2階にあります。みなさんのキャンパスライフをサポートする教職員、臨床心理士、精神科医が在室しています。学生相談室には「サロン」と呼んでいる談話室があります。ここには本、新聞、テレビやお茶の用意があり、自由に交流できる居心地のよい場所を目指しています。

本学の学生さんならどなたでも利用できますので、立ち寄ってみてください。

進一層館 (通称: Forward Hall)



旧図書館を大改修し、2014年10月に完成したのが、「大倉喜八郎 進一層館」(通称:Forward Hall)です。建物正面には本学の前身、大倉商業学校の創立者である大倉喜八郎翁の銅像があります。

1階には約320名が収容できる多目的ホールのほか本学の歴史を概観できる展示コーナーがあり、喜八郎翁にちなんだ書籍も展示してあります。

学習センター



学習相談や各種講座などを行っている学習センターにも、たくさん本があります。

TKU ベーシックカと関連付けて「KIHACHIRO 文庫」と名付けられていて、図書館にあるものとは一味違う、入門書や気軽に読める本が約3,500冊並べられています。

貸し出しは行っていませんが、学習センター内で自由に閲覧できます。

キャリアセンター



皆さんのキャリア形成を力強くサポートするキャリアセンターにも本がたくさんあります。

仕事とは?就職とは?といった入門編から就活・業界研究など具体的な対策に関するものも、業界紙を含む新聞や経済誌も読めます。『会社四季報』なども、もちろん揃っています。

貸出可能な本とセンター内閲覧のものがあります。

生協 (東京経済大学生協同組合)



生協は学生厚生会館にあり、書籍コーナーは2階にあります。生協加入の方は書籍を10%OFFで購入できるのでお得です。

教科書や辞書等の授業の指定図書ばかりでなく、マンガや『就職四季報』、『non-no』や『CanCam』、『TVガイド』や『文藝春秋』のような雑誌まで幅広い品揃えで、学生のみなさんをお迎えしています。

竹内秀一副学長からのメッセージ

東経大では、学習センターのベーシック講座やキャリアセンターのSPI対策講座以外に、正課授業でも、大学で学ぶ力を身につけ、社会人として活躍するための科目群「ベーシック科目」を多数開講しています。たとえば、「文系のための基礎数学」では、就職活動で必要となるSPI試験等の数的処理問題の解法を学ぶことにより、基礎的な数的思考力を身につけます。また、「文章表現基礎」「日本語表現」では、日本語表現の基礎力を身につけることができます。

こうした基礎力をもとに、ゼミでの調査・分析を通じて実践的な知力を身につけることで、社会で活躍する可能性をより一層広げることができるでしょう。

皆さんの学年や伸ばしたい能力に応じて、ぜひ「ベーシック科目」を選択履修してください。



ちょっと
豆知識

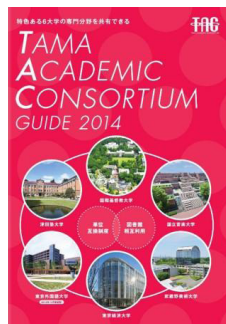
「グッドデザイン賞」とは、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する総合的なデザインの推奨制度で、毎年受賞数は約1,000件だそうです。同振興会のサイトでは、本学新図書館のデザインの工夫や審査員の評価を見られるほか、過去55年分の受賞対象のデータも閲覧できます。デザインやものづくりに興味のあるアナタ、春休みを活用して研究してみたいか？

2

祝 20 周年！ TAC 特集

多摩地域の6大学で構成される大学協力機構「多摩アカデミックコンソーシアム」(通称:TAC)は2015年度に創立20周年を迎えます。今回は、その幅広く便利なサービスをご紹介します。

TAC とは…



国立音楽大学、国際基督教大学 (ICU)、津田塾大学、東京外国語大学 (2013年加盟)、武蔵野美術大学 (2000年加盟)、東京経済大学の6大学が加盟する大学コンソーシアムです。

コンソーシアム (Consortium) とは、2つ以上の個人・企業・団体・政府からなる組織で、共同で何らかの目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かってリソースをプールしたりする目的で結成されるものです。TACでは、図書館相互利用や単位互換制度などを通して、学生・教職員の交流を図っています。

TACのパンフレットは本学の図書館入口や6号館1階で配布しています。また、『TAC図書館利用ガイドブック』はTAC図書館サービスサイトでも公開されています。

幸運にも、本学はTACエリアの中心に位置し、最寄り駅である国分寺駅からすべての加盟大学へ30分程度で訪問できます！この春休みを利用して、TAC加盟大学の図書館を巡ったり、来年度の単位互換科目履修の検討を始めたりしてはいかがでしょうか？

● TAC サイト【イベント告知、単位互換開講科目・シラバス・時間割等】…<http://www.tacnews.com>

● TAC 図書館サービスサイト【利用案内、TAC 総合検索、共有データベース等】…<http://www-lib.icu.ac.jp/TAC/>



国立音楽大学

創立: 1926年 (大正15年)
学部: 音楽学部、別科
学生数: 1,849名
通称: くにたち



楽譜が借りられるのは音大ならではの LP や LD を含む多様な AV ソフトは館内で視聴可能です。自由閲覧室にはピアノが設置されています。また、教職課程登録者が多いこともあり、絵本棚もあります。そのほか、某クラシック音楽マンガのフランス語版、イタリア語のオペラ絵本、久石譲氏など卒業生が音楽を手掛けた映画の DVD も並んでいます。『名曲解説全集』は課題での利用頻度が高いとか。

【写真左】新着図書を表示中 / 【右】閉架書庫には約 14 万冊の楽譜が！

■国立音楽大学附属図書館のココがスゴい！オモシロい！

図書館報『ばらんど Parlando』は通巻 285 巻で、ネットでも公開中。Parlando とは「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号だそう。
<https://www.lib.kunitachi.ac.jp/pub/parlando/parlando.aspx>

武蔵野美術大学

創立: 1929年 (昭和4年)
学部: 造形学部
学生数: 4,217名
通称: ムサビ



2010年に「美術資料図書館」から「美術館・図書館」(通称M&L)にリニューアル。図書館の本をかざすだけでその本の情報や関連書籍、展覧会情報等が表示される「ブックタッチ」や高性能スキャナーなど、最新機能が満載で、Mac PCもズバリ。展覧会の図録を集めた「カタログギャラリー」、書物に関する本を集めた「ブックギャラリー」等も充実。館内に点在するデザインチェアに座ってくつろぐこともできます。

【写真左】本棚をイメージした外観の図書館 / 【右】美術館の外観

■武蔵野美術大学美術館・図書館のココがスゴい！オモシロい！

年間 10 本の展示を行う入館無料の美術館 / 約 2 万点に及ぶ映像作品を所蔵するイメージライブラリーや民俗資料室 (13 号館) もあり

津田塾大学

創立: 1900年 (明治33年)
学部: 学芸学部
学生数: 2,699名
通称: 津田塾



第2代塾長 (初代学長) の名前を冠した「星野あい記念図書館」の2階には、創立者・津田梅子の資料室も併設されています。館内はすべて開架式で、1階から5階まで自由に閲覧可能です。また、洋書が充実しており、ひろい学問分野をカバーしています。キャンパスもとても美しく、冬には、東京都選定歴史的建造物に指定されているハーツホン・ホール前のヒマラヤ杉にイルミネーションが施されます。

【写真左】1階南閲覧室【右】2階にはコピー機やスキャナーが並び

■津田塾大学星野あい記念図書館のココがスゴい！オモシロい！

英米文学や言語学、ジェンダー、数学に関する資料が充実 / 数学分野の洋書と雑誌は数学科・情報科学科等図書室に別置

※本文中の学生数は2014年5月1日現在の学部の在籍学生数です(東京外国語大学のみ、6月1日現在)

3

ちょっと
豆知識

Consortium はラテン語で「提携、共同、団体」の意味。この語は consors (パートナー) が語源であり、さらに consors は con- (一緒に) と sors (運命) からなる単語で「同志」を意味するそうです。ラテン語は、自然科学などの学名で使用されるほか、雑誌名やサッカーチーム名など意外と身近に使われています。ラテン語関連書籍は地下1階の集密書架に所蔵されているので、興味のある人は訪れてみてはいかがでしょうか？

3つのTAC活用術！ — 図書館相互利用・単位互換制度・学生交流 —

図書館に行ってみよう！

TAC加盟大学図書館の図書は無料で取り寄せることもできますが、時間があったら、直接訪問してみましょ！

音楽・美術・外国語・リベラルアーツ(津田塾&ICU)・社会科学(東経大)…とTACはそれぞれ個性豊かな大学の集まり。当然、図書館の蔵書のラインナップも大きく異なります。

他大学の図書館を探検することで、本との偶然の出会いに恵まれることでしょ。また、国立音大には楽器学資料館、武蔵野美大には美術館が併設されています。

訪問前に各図書館のサイトで開館スケジュールや利用ルールを確認することをお忘れなく！

授業を受けてみよう！

2～4年次生は、TAC単位互換制度によりTAC加盟大学の授業を履修することができ、修得した単位は「自由認定枠」として本学の卒業単位に認定されます。

開講科目はTACサイトで確認してください(2015年度分は3月下旬に公開予定)。

学事暦や授業時間が本学と異なる場合もあるので、よくチェックして、本学の授業と両立できるように履修しましょ！

【参考】2014年度TAC開講科目(抜粋)
本学で開講していない科目を中心に紹介します！

ICU:「微生物学」「最先端の物理学」など自然科学系
国立音大:「楽曲分析」「グレゴリオ聖歌」など音楽系
津田塾大:「微分積分…」「位相入門…」など数学系
武蔵野美大:「デザイン史」「西洋美術史」など美術系
東京外大:「ことばの不思議」「世界の文化」など言語・文化系

学園祭に参加してみよう！

TAC加盟大学は、学園祭も個性豊か。

例えば、東京外大の外语祭では、1年生は専攻言語の民族料理の屋台を担当し、2年生は専攻言語による演劇「語劇」を上演するそうです。学園祭も学びの一部として機能しているのですね。音大・美大の芸術祭でも様々な演奏・作品展示が行われます。

各大学の学園祭開催日程は少しずつづつしているため、同一年度に6大学すべて体験することも可能です。来年度はぜひ！

【参考】2014年度学園祭開催日程(※すべて終了)

10/25(土)～12/26(日) ICU祭(ICU)
10/25(土)～10/27(月) 芸術祭(武蔵野美大)
10/31(金)～11/2(日) 葵祭(東経大)
11/1(土)～11/3(月・祝) 芸術祭(国立音大)
11/14(金)～11/16(日) 津田塾祭(津田塾大)
11/20(木)～11/24(月・祝) 外语祭(東京外大)

東京外国語大学

創立:1997年(明治30年)
学 部:言語文化学部、国際社会学部
学生数:3,812名
通 称:東京外大



図書の種類も外語だらしさ満載！すべての書籍を言語別に分け、その中でジャンル別に分類されています。オンライン蔵書目録は原綴り文字にも対応。4階には大学院生の「多言語コンシェルジュ」による学習相談デスクも有り。キャンパス内には「アグラ・グローバル」「プロメテウス・ホール」など素敵な名前の施設がたくさん。知的好奇心に火が付くかも？

【写真左】3階の閲覧テラス 【右】外语祭の屋台料理の写真

■東京外国語大学附属図書館のココがスゴい！オモシロい！

授業期間中は日曜日でも開館/図書館報『Castalia』はWEBで公開中
<http://repository.tufts.ac.jp/handle/10108/32>

見学者の感想 現代法学部3年 金子雅尊(かねこ まさたか)さん
国際交流チューターの活動を通して世界各国の文化に興味湧き、2014年度に東京外大の「世界の文化A・B」を履修しました。外大附属図書館は言語別に蔵書を配置しており、各言語を学ぶ学生は必要な資料を1ヶ所で入手できるので便利です。また、日本文化に関する洋書が多く、外国人留学生の助けになると思います。学習相談デスクでは、多言語コンシェルジュが、卒論のテーマ設定など、学部生の悩みに親身になって対応されているのが印象的でした。

国際基督教大学

創立:1949年(昭和24年)
学 部:教養学部
学生数:2,622名
通 称:ICU



図書75万冊のうち半数が外国語図書で、日本語図書と区別なく並べられているのが特徴です。本館には約1ヵ月で更新する企画展示コーナーがあり、訪問時はメジャー(専攻)選択のための推薦図書が展示されていました。新館のオスマー図書館はICU学部生を対象とするライティングサポートデスク(WSD)等の自習スペースが充実しています。

【写真左】企画展示コーナーの推薦図書 【右】WSDのブース

■国際基督教大学図書館のココがスゴい！オモシロい！

新着図書コーナーがある/館内に休憩のためのブレイクエリアがあり、壁面には学内者による展示スペースも設置/内村鑑三記念文庫がある

見学者の感想:経営学部 教授 新正裕尚(しんじょう ひろなお)先生
WSDでは大学院生チューターによる英語・日本語の論文相談が行われています。事前予約してがっつり、飛び込みで急ぎの両方の相談パターンに対応可とのことです。また、人文・自然の広い分野にわたる、論文作成法の参考書が置かれていました。さらに、椅子・机が移動できるグループニングエリアが設けられており、図書館の本を自由に持ち込んで作業・議論ができます。図書とデータベースを併用して論文を作成している学生や英語で会話している学生が多数いたのが印象的でした。

武蔵小金井駅

東小金井駅

武蔵境駅

三鷹駅

至 新宿 →



東京経済大学 国分寺キャンパス
(国分寺市南町 1-7-34)
JR中央線・西武線(国分寺線・多摩湖線)
「国分寺」駅南口より徒歩12分

創立:1900年(明治33年)
学 部:経済学部、経営学部、
コミュニケーション学部、
現代法学部、21世紀教養プログラム
学生数:6,563名
通 称:東経大、TKU



多磨駅



東京外国語大学
(府中市朝日町 3-11-1)

JR中央線武蔵境駅乗り換え、
西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分
【国分寺駅からの所要時間:約30分】



国際基督教大学(ICU)
(三鷹市大沢 3-10-2)

JR中央線武蔵境駅南口または
三鷹駅南口より小田急バス
「国際基督教大学」行き、終点下車
【国分寺駅からの所要時間:約25分】

様々なTAC図書館サービス

TAC図書館では、便利なサービスで皆さんの学習・研究をサポートしています。レポートや論文作成に、ぜひ活用してください。

- ①貸出サービス: TAC加盟大学を訪問して直接図書を借りることができます。
- ②TLL(TAC Library Loan)サービス: 希望する図書を本学図書館に無料で取り寄せて、借りることが出来ます。
- ③返却サービス: 上記①②で借りた図書を、本学図書館で返却できます。
- ④共有データベース利用サービス: TAC加盟校のデータベースを訪問して利用できます。

- TAC図書館利用案内(2014年度)…<http://www-lib.icu.ac.jp/TAC/tac2014.pdf>
- TAC図書館総合検索サービス(TACOPAC)…<http://opac.icu.ac.jp/tacopac/>
- TAC図書館共有データベース一覧2014…http://www-lib.icu.ac.jp/TAC/TAC_Database_List2014.pdf

ちょっと豆知識

東経大の学生は、登録すれば、国分寺市立図書館で本を借りることができます(国分寺市民の場合は府中市・国立市・小平市の図書館も利用可)。市立図書館には大学図書館とは傾向が違う本や雑誌があります。ぜひ利用してみましょ。さらに、東経大のご近所にある美術館をご紹介します。府中市美術館、武蔵野市立吉祥寺美術館、三鷹市美術ギャラリーなどなど。キャンパスからちょっと足を伸ばしてアートに親しんでみては？

図書館から「大倉喜八郎 進一層館」へ

2014年10月、本学の前身・大倉商業学校の創立者名と建学の精神を冠した「大倉喜八郎 進一層館」（通称：Forward Hall）に生まれ変わった、旧図書館についてご紹介します。

図書館の思い出

（元・本学図書館職員 長谷康夫さん）

私は東京経済大学職員として35年間勤め、2012年に定年退職した。秘書課、企画広報課の2年間を除いて、すべて図書館勤務であった。世間でよく言われることだが、今も昔も変わらぬ図書館構成要素は、建築、情報資源、スタッフの3つである。この要素を基に本学図書館を考えていこう。

建築について見ると、幸いにも今年度4月から新しい建物に移ることになったので、喜ばしい次第である。旧図書館は40年以上前に建った建物なので、いわば4世代前の図書館といえよう。建築当時は図書館にコンピュータが導入されるなどは考えられない時代であったのだから。ただし建築物としてみると、遊び心に溢れており、中や外を探検するのは面白いと思う。

情報資源、すなわち図書や雑誌、データベースなどであるが、これは100年以上の歴史の蓄積の恩恵を受けていることは言うまでもない。書庫に入り、ふと手に取った本に大倉商業学校や大倉高商の蔵書印が捺されていることも稀ではない。在職中に図書館が所蔵していることで役立った図書として例えば『法規分類大全』『静嘉堂文庫図書目録』『日本経済大典』『日本経済叢書』『日本書誌学大系』『日葡辞書』など枚挙に暇がない。データベ

スとしては「マガジンプラス」「雑誌記事索引集成データベース」他である。いずれも「利用できて感謝している」と思う程度ではバチが当たりそうな位だ。2年前、江戸時代に地方支配を担当していた代官や郡代向けの業務指針として高名な『祠部職掌類聚 地方凡例録（じかたはんれいりく）』を出版したが、本学図書館の情報資源におおいに助けられた。図書館では近年、とりわけデータベースの導入に努力しているため、今後に一層の期待を持つことができる。

スタッフであるが、有能な職員を揃えており、学生諸君はどしどし相談してほしい。館員がカウンターで足を投げ出して居眠りをしていたり、鼻毛を抜いていたいたりしていても構わないのなら話は別だが。彼らを利用しないで4年間を過ごすのは、学費をドブに捨てるに等しいだけでなく、知的程度の上昇も望めない、と言っても大袈裟ではないだろう。短時間に効率的にかつ正確に問題を解決するために、是非彼らを利用してほしい。もっとも、私がどれだけ学生の役にたったのかは疑わしいが。

私は今でも本学図書館を利用している。長野県からわざわざ出掛けて行ってである。居住地近辺の公共図書館は全くといえる程役にたたない。それほどまで本学図書館は魅力に富む場所なのである。編集者から「思い出を書け」という要望を受けたが、私にとって本学図書館は今も「現役」としての存在なのである。

旧図書館（写真提供：校務職員室 今泉和正さん）



【写真左】旧図書館入口
進一層館にリニューアルされたが、外観は旧図書館の面影をほぼ残している。大倉喜八郎の銅像は、入口の向かって右手に設置された。

【右】旧図書館1階
1階には、書架、雑誌コーナー、閲覧席、検索用PC、カウンター等が並んでいた。柱を一本も使用しておらず、非常に開放的な空間となっていた。

「大倉喜八郎 進一層館」と沿革史展示コーナー

2014年4月から新図書館が開館し、それに伴い、1968年に日本建築学会賞を受賞した旧図書館は46年の役割を終えた。旧館は半年間の改装工事を経て10月18日に「大倉喜八郎 進一層館」として竣工式を迎え、新しい役割を担うことになった。

「大倉喜八郎 進一層館」の1階には、ホールとラウンジ、沿革史展示コーナー「大倉喜八郎と東京経済大学のあゆみ」が設置されている。同館の竣工式と同時に除幕式が行われた「大倉喜八郎の像」は、同館の北面の玄関に隣接して建てら

れている。本学訪問者は、大倉の像に引き寄せられて1号館東側の通路を経て銅像に近づき、その台座に刻まれた本学の建学の精神「進一層」を目にする。玄関から中に入ると、ラウンジの奥に「大倉喜八郎と東京経済大学のあゆみ」が待ち受けているのである。

「大倉喜八郎と東京経済大学のあゆみ」設置によって、1900（明治33）年の大倉商業学校の創立から今日までの本学の沿革・変遷を展望した展示施設が、初めて実現したことになる。

5

ちょっと豆知識

進一層館前に立つ大倉喜八郎銅像（台座含め4m）のオリジナル版は、1916年10月に現在の新潟県新発田市東公園に建立されました。その高さは、なんと銅像が4m余り、台座を含めると10mを超えました！戦時下の金属供出のため現存していませんが、新潟テレビ21『新発田が生んだ巨人：大倉喜八郎の生涯』（2014年）の61ページに写真があります。

教職員・学生のオススメ本

読書好きの皆さんより、小説から読書術、絵画に関する本まで、幅広いジャンルのオススメ本を紹介してもらいました！



経済学部 渡辺裕一（わたなべ ゆういち）先生

O・ヘンリー(芹澤恵訳)『賢者の贈りもの』、『1ドルの価値；賢者の贈り物：他21編』所収、光文社古典新訳文庫、2007年

1900年代のアメリカ。お金持ちではないけれど、若いジムはおじいさん伝来の金時計を大切にしている、妻のデラは美事な髪が自慢。クリスマスを前に二人は相手に贈りものをしようと考える。デラは時計につける鎖を贈ろうと髪を切ってお金にする。ジムは髪飾りを贈ろうと時計を売ってしまう。そして一。さて、この二人は愚かだったのだろうか。いや、相手を思うことこそ贈り物をするの最も深い意味なのだという、若い恋人たちにお薦め的一篇。【1階新書文庫コーナーの18番書架に所蔵】

経営学部 山口みどり（やまぐち みどり）先生

大澤真幸『〈問い〉の読書術』朝日新書、2014年

読書会で気づいたことが一つある。学生と教員の本の読み方が違うのだ。「ここに〇〇と書いてあり、面白いと思いました」という学生。「なぜ主人公は何度失敗しても同じことを繰り返すのか？」と問いを提示する教員。その本を読むこと自体を楽しむのもよいが、その本から「問い」を引き出し、その解答を求めてさらなる読書をするのもっと楽しい。マイケル・サンデルから半沢直樹まで、どんな本からも問いを引き出す読書術の本。【1階新書文庫コーナーの17番書架に所蔵】



国際交流課 職員 三木真一（みき しんいち）さん

エドワード・W・サイード(大橋洋一訳)『知識人とは何か』平凡社ライブラリー、1998年

小さい頃、「そんなの当たり前」と叱られたことはありませんか。目上の人や権威ある立場の人から「当たり前」「当然」「常識」と言われると、もうそれ以上は考える余地がないように感じてしまうかもしれませんね。しかし、本当かなあと疑うこと、考えることを放棄しないこと、そういった「姿勢」が現代を生きるすべての知識人には必要不可欠であると、著者は説いています。何をもちて人は知識人たるのか、考えさせられる一冊です。【1階新書文庫コーナーの8番書架に所蔵】



経済学部3年 高橋康平（たかはし こうへい）さん

森見登美彦『夜は短し歩けよ乙女』角川書店、2006年

舞台は京都の某大学。後輩の「黒髪の乙女」に思いを寄せる「先輩」は、彼女の心を射止めるべく外堀を埋める努力をしていた。その名も「なるべく彼女の目にとまる作戦」略して「ナカマ作戦」である。ヘンテコな登場人物と珍事件の数々に遭遇しつつも二人は「偶然」出逢いを重ねていくが、その結末はいかに？外堀を埋めるばかりで決定打を打てない君や退屈しているあなたにオススメ！不思議でおもしろい恋愛ファンタジー！【1階課外図書コーナーに所蔵】



コミュニケーション学部3年 安藤珠子（あんどう たまこ）さん

中野京子『印象派で「近代」を読む 光のモネから、ゴッホの闇へ』NHK出版新書、2011年

印象派絵画は、現在でこそ世界中で愛されていますが、1860年代当時の人々にとっては大変異質なものであり、なかなか受け入れられませんでした。この本は、印象派の誕生から人気を博すまでを、時代背景と絡めながら解説しています。代表的な絵画がカラー写真とともに解説されているので、特徴をわかりやすく知ることができます。この本をきっかけに、ぜひ印象派の絵画の魅力を知ってほしいです。【1階新書文庫コーナーの17番書架に所蔵】



ちょっと豆知識

上の書評で山口みどり先生が紹介されている「読書会」とは、あらかじめ決められた「お題本」を読み、感想をみんなで話し合ってお楽しみ集まりのことです。過去の読書会のレポートは、本学教員によるブログ「センター日記」に掲載されていますので、ぜひご覧ください。2015年1月に開催されるブックトークと読書女子会については裏表紙をチェック！

6

イベント案内

注目イベントのご案内

1月の注目イベントをご紹介します！詳しい情報は図書館サイトやTKUポータルで確認してください。

1/ 9 (金) 5限 <申込不要・出入り自由>

ブックトーク「恋する〈私〉を哲学する」ゲスト：宮野真生子先生（福岡大学）
ディスカッサント：藤村安芸子先生（駿河台大学）、相澤伸依先生

1/13 (火) 5限 相澤伸依 先生

マンガで読書女子会（女子学生限定）安彦麻理絵『コンナオトナノオンナノコ』
※申込者にはお題本を差し上げます。

会場はいずれも図書館。1/13の参加希望者は図書館2階カウンターまで。

1/30 (金) 国際交流日帰り旅行

詳細は1号館2階の国際交流課へお問い合わせください。

図書部 Twitter では、図書部の活動情報、学内のイベント情報、本や映画の紹介などを配信しています。

@tku_toshobu をチェック！



図書館内でいろいろな企画展示、やっています！

図書館では1階 OPAC 周辺のブックウォールを中心に、様々な企画展示を行っています。展示はときどき入れ替えていますので、訪れる度に新しい発見があるはず！授業の合間に、試験勉強の息抜きに…ぜひ図書館内を探検してみてください。



「恋愛を考える」展



「伝記を読む！」展



「東海道新幹線 50 周年」展



「岩波ジュニア新書」展

図書部サポーター募集！

図書部では学生サポーターを募集しています。主なお仕事はこちら！

- ①企画展示の設営準備
 - ②読書会や学外の図書館見学等のイベントへの参加&レポート
 - ③当『図書部だより』への寄稿
- ※一部のみ参加も OK

ボランティアとして、本好きの仲間たちと楽しく交流できます。

希望者は図書館カウンターまたは library@s.tku.ac.jp (件名:図書部サポーター応募) へ！



過去の企画展示の様子

今後の発行スケジュール

『図書部だより』は、図書館に関する情報を提供し、学内のコミュニケーションを図ることを目的として、年4回の季刊発行を予定しています。

次の春号は「**新入生歓迎&語学学習特集**」です！

「こんな企画をやってほしい」「大好きな本を紹介したい」「インタビューに来てもイイよ!」という学生・教職員の方は、図書部員までご連絡ください。

<各号の発行予定時期>

春号 (3月中旬)、夏号 (7月上旬)、
秋号 (10月下旬)、冬号 (1月中旬)

編集後記

冬号では、すべての TAC 加盟大学を訪問し、取材・撮影させていただきました。師走の大変多忙な時期にもかかわらず、貴重なお時間をさいてくださった各大学の図書館・教務課の皆様、本当に有難うございました。心より御礼申し上げます。

各大学を拝見して、授業での学びと図書館での自習がうまく連動されていると感じました。また、学生の興味関心が広がるよう選書を工夫されている図書館員の方の姿勢に感銘を受けました。20周年を迎える TAC の益々の発展を祈念致します。(田中)

教育改革支援制度（進一層トライアル）採択事業

『TKU LIBRARY NEWS (図書部だより) vol.4』2015年1月発行

発行元/東京経済大学 図書部 図書部員：相澤伸依、新正裕尚、野田淳子（以上、経営学部専任教員）

鴨下彰子、小川紀子、清原文（以上、図書課）

網中真志（学生課）、田中理沙（学務課）、角田浩司（情報システム課）